

平成29年11月24日

調査・研修報告書（議員用）

報告者：山田 聖三

実施場所：東京都新宿区 日本青年館ホテル 京都市下京区 メルパルク京都	実施日：平成29年11月15日 ～平成29年11月18日
--	---------------------------------

■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）

1. 第22回清溪セミナーにおいては、地域包括ケアシステムを内包したコンパクトなまちづくり等の講演を受け、本市における諸問題の解決策を探る。
2. 地方議員研究会においては、地域包括ケアシステム構築に向けた先進地の取組事例の講義を受けることにより、本市ケアシステムの構築を探る。

■参考とすべき事項

1. 第22回清溪セミナーにおいては、

- ・1日目

- ・「地域包括ケアシステムを内包したコンパクトなまちづくり」

講師 岡山県高梁市川上診療所所長 菅原 英次 氏

中山間地が抱える問題は、様々あるが、住民の生活を支えるためには、医療・福祉サービスをまちづくりの中心に据えなければならないこと、中心となる施設は多機能な複合施設であること、また、在宅医療においては、在宅医療コーディネーターが重要な役割を果たし、住民に寄り添った医療・福祉であること等、高梁市川上町の高梁市川上医療センターの取り組みについて講演を受けた。

- ・「買い物困難者対策と地域活性化への道筋」

講師 公益財団法人流通経済研究所主任研究員 折笠 俊輔 氏

増加する買い物困難者への対策について、全国の事例紹介を交えながら、対策の講座を受けた。また、グループに分かれ各市町の現状を出し合いながら、グループディスカッションも行った。

- ・2日目

- ・「高齢者ドライバーの運転免許返納を提案する」

講師 東北福祉大学特任教授 福岡 政行 氏

高齢運転者の交通事故防止対策と交通支援について、事例紹介を交えながら運転免許返納への提案を受ける。

- ・「世界経済の潮流～日本経済の行方～」

講師 同志社大学ビジネス研究科教授 浜 矩子 氏

反グローバル化の落とし穴として国粹主義に向かう傾向が感じられ始めている等世界の流れを聞くとともに、アベノミクスへの批判等日本経済の行方についての講義を受ける。

2. 地方議員研究会においては、地域包括ケア特別講座として地域包括ケアシステム構築へ向けた取組について、公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会理事長 瀬戸恒彦氏の講義を受けた。地域包括ケアシステムのしくみや構築に向けた進め方の説明を受けるとともに、全国の取組事例の紹介を受けながら、本市における地域包括ケアシステムの構築について参考事例を探った。

■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

1. 地域包括ケアシステムについては、多様なニーズがあるが、人生の最終段階における療養場所を病院でも施設でも在宅でも、自由に選ぶことができるしくみを構築する必要がある。特に、在宅看取りにおいては、医療と介護の連携が不可欠であり在宅医療コーディネーター等中心となる人材の育成と配置を検討する必要がある。

本市においては、モデル地区を選定し取組みを進める必要がある。

2. 買い物困難者対策及び高齢者ドライバーの運転免許返納における交通対策については、同じ問題点を内包しており、交通手段を確保し商店や病院へ行くのか、それとも移動販売のように、住んでいるところに配送するのかの両方が考えられる。

本市においては、それぞれの地域にあった方法を選択することになると考えられる。

なお、交通手段については、利用者の利便性を図り、定時定路ではなく玄関から玄関までの送迎を考える必要がある。